

i CARE Symposium in KYOTO

安倍政権になって、これまでの自公路線の

医療・福祉施策に戻りつつあります。

「医療的ケア」の違法性阻却から一部法制化1年、福祉に医療を取り込むが、

福祉予算の増額はなく、病院医療から在宅医療へという

「お金がかからない」市場原理で、

長期重症者の追い出し策が少しずつ見えてきています。

「医療的ケア」の「職業化」で超重症児の生活の質が保障されるのか？

安全、安心な地域での連携をどうつくっていくか、

一緒に考えましょう。

「医療的ケア」の消滅!?



全国「緊急」シンポジウム

今後の医療的ケア を考える

2013年6月16日(日)

会場・コープ・イン・京都(会場地図は裏面)

〒604-8113 京都市中京区柳馬場蛸薬師上ル TEL: 075-256-6600

時間・10:00~16:30(開場 9:30) 参加費・会員 500円・非会員 1000円

※シンポ申込時に入会されると会員扱いの参加費となります。

- 基調講演 杉本健郎 (NPO法人 医療的ケアネット 理事長)
- 講演① 「千葉から東京へ、訪問診療からみえる超重症児者の地域支援の課題」
前田浩利 (子ども在宅クリニックあおぞら診療所 墨田)
- 講演② 「北海道の医療的ケアを必要とする障害児者のマッピングとそこから見える今後の課題」
平元東 (北海道療育園 園長)
- 講演③ 「地域の訪問看護・福祉からみた超重症児者支援の課題」
李国本修慈 (NPO法人 地域生活を考えよーかい 代表理事・有限会社 しえあーど 代表取締役)
- 講演④ 「学校での「医療的ケア」の歴史と現状、そして今後」
下川和洋 (NPO法人 地域ケアさぼーと 研究所)

フロア発言を交えたシンポジウム コーディネーター 杉本健郎

⇒ 裏面に「議論の主なポイント」

助成：公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

www.mcnet.or.jp

在宅で「いきる」
支援はどうなる？

主催 ● NPO 法人医療的ケアネット TEL.075-693-6604 FAX.693-6605 e-mail.mcnet-info@mcnet.or.jp

後援 ● 京都府、京都府教育委員会、京都市、京都市教育委員会、京都新聞社会福祉事業団(申請中および申請予定)

申し込みは FAX か Mail で!